

# 龍ヶ崎市道の駅整備事業 に関する要望書

令和5年12月

龍ヶ崎市議会

龍ヶ崎市長 萩原 勇 様

## 龍ヶ崎市道の駅整備事業に関する要望書

龍ヶ崎市道の駅整備事業につきましては、本年3月24日に、萩原市長から、「龍ヶ崎市道の駅基本計画」に示されていた物販及び飲食を伴う地域振興施設（機能）を縮小したうえで、牛久沼の水辺・自然・夕日を活用した「道の駅」を整備することとし、令和10年度の開設を目途とする旨の方向性が示されました。

その後、本年第2回定例会の一般質問に対する萩原市長の答弁において、台風第2号の影響に起因する6月2日から3日にかけての大雨により、牛久沼の水が越水するという事態を受け、市民の生命、財産を守ることを第一に考え、まずは牛久沼の治水、安全性の確保が最優先であり、道の駅整備については、一度立ち止まるという方針が改めて示されたところです。

一方、龍ヶ崎市議会においても、道の駅整備事業に関する執行部からの説明内容や関係資料などを踏まえ、地域資源としての牛久沼活用のあり方、その中での道の駅整備事業の必要性、実現性や持続可能性、費用対効果、市の財政収支見通しなど、幅広い視点で検討し、さらには議会報告会・意見交換会を開催し、そこで寄せられた声も含め市民の皆さんの意見を基に、今後進むべき方向について議論を重ねてまいりました。

今後、茨城県が設置した牛久沼越水の原因究明等を行う検討委員会から提示される対策等を踏まえ、改めて検討のうえ、市の考え方をとりまとめていくことと思慮いたしますが、本件の重要性に鑑み、龍ヶ崎市議会は、道の駅整備事業の今後のあり方について、下記のとおり要望いたします。

### 記

牛久沼は、本市の大切な地域資源の一つであり、牛久沼及び周辺地域を一体的に捉え、牛久沼全体を対象として、地域活性化に向けた利活用方策を検討していく必要がある。

検討にあたっては、道の駅ありきではなく、本市全体の魅力向上や地域活性化につながる施策について、市民の納得性、財政への影響をはじめ、広域的視点、

治水対策、水質改善、自然環境との調和など、幅広い観点から議論を深めていくことが重要である。

このようなことを前提としつつ、本市への道の駅整備自体の是非については、議会内においても賛否両論あり、今後も継続的な議論が必要と考えるが、少なくとも現行の整備計画に基づく道の駅整備事業については、市民意向の反映、事業の優先順位、整備コスト、集客機能、立地適正など、課題が山積していることが明らかである。

以上のことから、事業の中止も含めて、適切な判断を求める。

令和5年12月11日

龍ヶ崎市議会